

学校教育目標

心の温かい思いやりのある人の育成

急激に変化するこれからの社会の中で、子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、他の人を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓いていくため、時代を超えて変わらずに大切にしたいものは「心の温かい思いやりのある人」（人格）の育成であると考えます。

また、この学校教育目標に近づくための過程的目標として、めざす子ども像を「自ら学び取る子（知）・すすんで協力し合う子（徳）・ねばり強くやりぬく子（体）」としています。

<めざす子ども像>

知：自ら学び取る子

意欲をもって課題に取り組み、自分の考えをしっかりと持ち、学び合いを通して、自分自身を高めていく子ども

徳：すすんで協力し合う子

望ましい心や行動の在り方を求めながら、広い心で他の人と接し、お互いに協力し合ってよりよい集団生活を築いていく子ども

体：ねばり強くやりぬく子

強い心と体、健康安全について関心を持ち、困難に遭ってもねばり強く解決を図りながら、最後までやり抜いていく子ども